お知らせ

2026 年 11 月 19 日

# 日立の社員が Agentic AI Foundation において、MCP の適合性試験のメンテナに就任し、AI の安全な活用をリード

**AAIF と日本のエンジニアをつなぐコミュニティを企画・運営する社員も「Community Builder Award」を受賞**






写真左：MCP の適合性試験メンテナに就任した乗松　隆志
写真右：AAIF Community Builder Award 受賞した日立の伊藤　哲(左から 2 番目)
他左から AAIF CTO Manik Surtani 氏、共同受賞者の苑田　朝彰氏、塚田　真規氏、AAIF Executive Director　Mazin Gilbert 氏

株式会社日立製作所(以下、日立)の乗松　隆志(のりまつ　たかし)が、このたび、Agentic AI Foundation(以下、AAIF)[*1] が推進する Model Context Protocol(MCP)[*2] の Conformance(適合性試験)[*3] を担当する Project Maintainer に就任[*4]しました。乗松は、認証・認可技術と OSS に関する高度な専門性を生かし、MCP の認証・認可に関する適合性試験への貢献に加え、認証・認可 OSS「Keycloak」[*5] への MCP 実装にも取り組んできました。こうした技術力と実績が評価され、今回の Project Maintainer 就任に至りました。また、伊藤　哲(いとう　さとし)は、日本の MCP コミュニティのイベントである「Agentic Tokyo」の企画・運営を通じて、日本のエンジニアに継続的な情報共有の場を提供してきたことが評価され、AAIF Annual Technical Excellence Awards[*6] の「Community Builder Award」を共同受賞しました。今回のメンテナ就任と受賞は、日立が AAIF において、安全な AI 活用を支える技術開発と、その知見や実践を広げる普及活動の両面で貢献してきたことを示すものです。

企業で AI エージェントの活用が広がる中、AI エージェントが外部のツールやデータにアクセスする際には、情報漏えいや不正アクセスなどを防ぐため、安全で適切なアクセス制御が重要です。AI モデルと外部ツールやデータを接続するためのオープンなプロトコルである MCP においても、特に認証・認可の仕様において、企業の製品やサービスが正しく準拠していることを確認する適合性試験の整備が求められています。

日立は今後も、MCP の認証・認可領域における適合性試験の整備をグローバルで推進するとともに、AAIF で得られた安全な AI 活用に関する知見やプラクティスを日本のコミュニティへ共有し、国内での安全な AI 活用の普及を後押しします。

さらに、日立は、これまで社会インフラ事業で培った安全性・信頼性に関する知見と、長年の OSS 活動で磨いてきた技術力を生かして、認証・認可 OSS「Keycloak」への貢献[*7]や、Cloud Native Computing Foundation(CNCF)におけるコミュニティ活動[*8]、企業の戦略的な OSS 活用をリードする OSPO の普及[*9]などに取り組んでいます。直近では、重要な OSS の脆弱性に業界横断で取り組むプロジェクト「Akrites」に日本企業として初めて参画[*10]し、社会インフラを支える OSS の安全性の向上に貢献しています。

このような、オープンコミュニティとの協創や標準化活動を通じて得られた技術と知見を生かし安全な AI 活用を実現するとともに、オペレーショナルレジリエンスサービス「HMAX Cyber」などと連携することで、お客さまの事業継続とサイバーレジリエンス向上に貢献します。

*1 The Linux Foundation 傘下で Agentic AI の透明性・標準化を推進する中立的な組織 https://aaif.io/
お知らせ "日立、日本企業で初めて Agentic AI Foundation に加入し、AI のアクセス権限管理の標準化を支援" (2026.3.10)
*2 LLM アプリケーションと外部のデータソースやツールを標準的に接続するためのオープン・プロトコル
*3 MCP を利用する製品やサービスが、MCP で定められた仕様に沿って正しく実装されているかを自動で確認するためのもの
*4 https://github.com/modelcontextprotocol/modelcontextprotocol/blob/main/MAINTAINERS.md
*5 アプリケーションやデータへのアクセスを安全に管理するための ID 管理やアクセス管理の仕組み(IAM)を実現する OSS
*6 AAIF Annual Technical Excellence Awards: https://aaif.io/awards#the-awards
表彰サイト公式ブログ：https://aaif.io/blog/winners-of-the-first-aaif-annual-technical-excellence-awards
*7 お知らせ "OSS「Keycloak」開発プロジェクトのメンテナに日立の社員が就任" (2021.10.26)
*8 お知らせ " 日立の社員が、専門技術のアドバイザリー活動での国際的な活躍により Cloud Native Computing Foundation から「TAGGIE 賞」を受賞" (2026.4.15)
*9 ニュースリリース "日立、戦略的な OSS 活用をグローバルでリードする Open Source Program Office (OSPO)を設立" (2024.11.8)
*10 ニュースリリース "日立、日本企業初、重要な OSS の脆弱性に業界横断で取り組むプロジェクト「Akrites」に参画" (2026.11.11)

## 乗松 隆志の MCP メンテナ就任について

OSPO のチーフ OSS スペシャリストである乗松は、MCP コミュニティでの活動開始から約半年で、MCP の実装が仕様に準拠していることを検証する適合性試験を担当する Project Maintainer に就任しました。今後、MCP のクライアントやサーバーへの実装を対象に、特に認証・認可領域の適合性評価やテストの拡充に取り組みます。また、OSS の認証・認可基盤である Keycloak のメンテナとして、MCP の最新の認証仕様への対応を推進するほか、AAIF 主催のグローバルなイベントでは Program Committee として運営にも参画しています。今回の就任は、こうした技術面と運営面での継続的な貢献が評価されたものです。

## 伊藤 哲の「Community Builder Award」受賞について

研究開発グループの伊藤が受賞した「Community Builder Award」は、AAIF Annual Technical Excellence Awards の表彰部門の一つで、イベント運営やドキュメント整備、ワーキンググループ活動、人財育成、新規参加者支援などを通じて、AAIF コミュニティの成長や活性化に貢献した個人または小規模チームを表彰するものです。伊藤は、共同受賞者とともに「Agentic Tokyo」を企画運営し、日本の MCP コミュニティにおいて、MCP の実装やセキュリティ研究、企業への導入に関する知見を継続的に共有する場を提供しています。こうした活動を通じて、グローバルに展開される MCP の取り組みと日本のエンジニアをつなぐ役割を担ってきたことが評価され、今回の受賞に至りました。

## 関連サイト

・Hitachi OSPO
https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/ospo/?ni=261119
・HMAX Cyber
https://www.hitachi.com/ja-jp/products/digital/cyber/?ni=261119

・業務の最前線に立つ日立の AI
https://www.hitachi.co.jp/products/it/CloudDX/generative_ai/?ni=261119

## 商標注記

・記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

## お問い合わせ先

株式会社日立製作所　ＡＩ＆ソフトウェアサービスビジネスユニット
お問い合わせフォーム：https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/

以上